

参考資料2 市民の意向調査

1 アンケート実施概要

(1) 調査票の作成

- アンケートの目的は、市民の日常生活における移動を支える、市内の公共交通サービスに関する問題点や課題を抽出するとともに、公共交通網の見直しに向けて市民の意向を反映できるようにすることにある。
- アンケートにおける課題抽出・市民の意向把握は、現状からみた公共交通の課題を踏まえて、以下の視点に沿って設問を構成する。

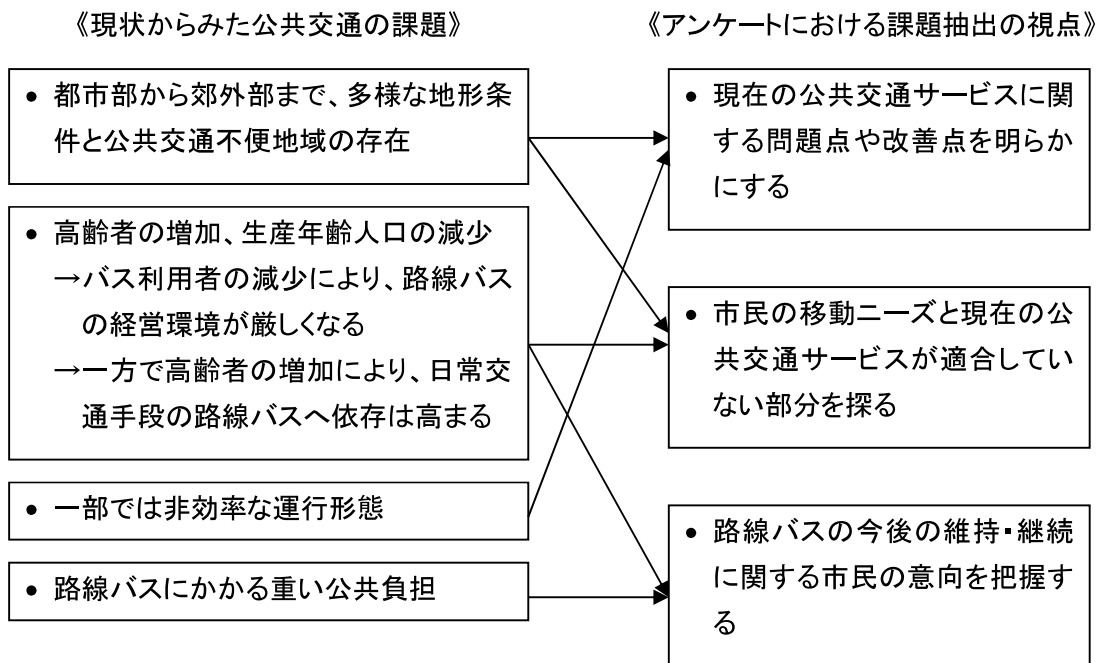


図 アンケートにおける課題抽出の視点

表 アンケート設問構成の検討

設問	設問のねらい	設問内容
Q1 基礎情報の取得	<ul style="list-style-type: none"> バス利用の現状を把握する 	<ul style="list-style-type: none"> バス利用者はどのくらいいるのか バス利用者はどのような人か バス利用者がある世帯とない世帯の違いは何か
Q2 改善点の明確化	<ul style="list-style-type: none"> 利用者から見たバスサービスの問題点や改善点を探る 	<ul style="list-style-type: none"> 現在のバスサービスに対して不満を感じていることは何か(不満度が高く、かつ重要度が高い項目の抽出) 路線ごとに違いはあるのか
Q3 移動ニーズの把握	<ul style="list-style-type: none"> 市民の移動ニーズと公共交通サービスが適合していない部分を探る 	<ul style="list-style-type: none"> 外出時の移動で困っている人はいるのか 外出時の移動で困っているのはどのような人か
Q4 路線バスに対する意向把握	<ul style="list-style-type: none"> 路線バスの今後の確保維持に関する市民の意向を把握する 	<ul style="list-style-type: none"> バス路線に対して市民は必要性を感じているのか 公共負担に関してどの程度知られているのか 公共負担に関して市民はどうしていきべきと考えているか 必要最低限のバスサービスレベルはどの程度か

(2) 配布回収状況

① 配布回収方法

- 調査票を調査対象者あてに郵送配布し、回答は後日郵送回収した。
- アンケートの回収は、宛先は青梅市役所で料金受取人払いとした。
- 配布回収は平成 23 年 12 月に実施した。

② 配布物件

- お願い状(A4判、裏側に関連情報)
- 調査票(A3判)
- 返信用封筒

③ 配布回収数

- 市域全体を対象に調査対象者 3,000 人を無作為に抽出して、概ね人口の割合に応じて配布した。
- 年末を締め切りとして回収した。
- 回収数 1,231 票、回収率 41.0%であった。

表 アンケートの配布・回収状況

	世帯数	人口	配布数	抽出率	回収数	回収率
青梅地区	5,027	11,703	265	2.3%	123	46.4%
長淵地区	9,145	22,032	456	2.1%	181	39.7%
大門地区	8,528	20,688	437	2.1%	175	40.0%
梅郷地区	4,352	11,094	221	2.0%	98	44.3%
沢井地区	1,575	3,817	83	2.2%	47	56.6%
小曾木地区	2,262	4,372	76	1.7%	27	35.5%
成木地区	1,147	2,266	40	1.8%	21	52.5%
東青梅地区	7,582	16,272	386	2.4%	168	43.5%
新町地区	8,411	20,084	434	2.2%	149	34.3%
河辺地区	7,533	16,191	393	2.4%	148	37.7%
今井地区	4,682	11,341	209	1.8%	78	37.3%
居住地不明	-	-	-	-	16	-
合計	60,244	139,860	3,000	2.1%	1,231	41.0%

(世帯数、人口:平成 23 年 10 月 1 日現在)

(3) 配布物件

青梅市からのお願いです

公共交通についてのアンケートにご協力ください

公共交通なかでも路線バスは、地域の生活の足として重要な役割を担っています。しかし利用者の減少などにより、バス事業者の経営は大変厳しい状況におかれています。

青梅市においては、バス路線の運行を維持するため、赤字路線への補助を行っていますが、今後も路線バスを維持していくためには、バス事業者の経営努力のみならず、行政の公共交通活性化の取り組みや地域の皆様に利用していただくことが必要です。

つきましては、今後の路線バスのあり方について、地域の皆様のお考えをうかがうため、アンケートを実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。

お答えいただいたアンケートは、**平成 23 年 12 月 30 日（金）**までに、返信用封筒に入れてポストへご投函くださるようお願いいたします。

平成 23 年 12 月

青梅市長 竹内 俊夫

《 問い合わせ先 》

青梅市 企画部 企画調整課 公共交通担当 電話 0428-22-1111 内線 2423
〒198-8701 青梅市東青梅 1 丁目 11 番地の 1 青梅市役所

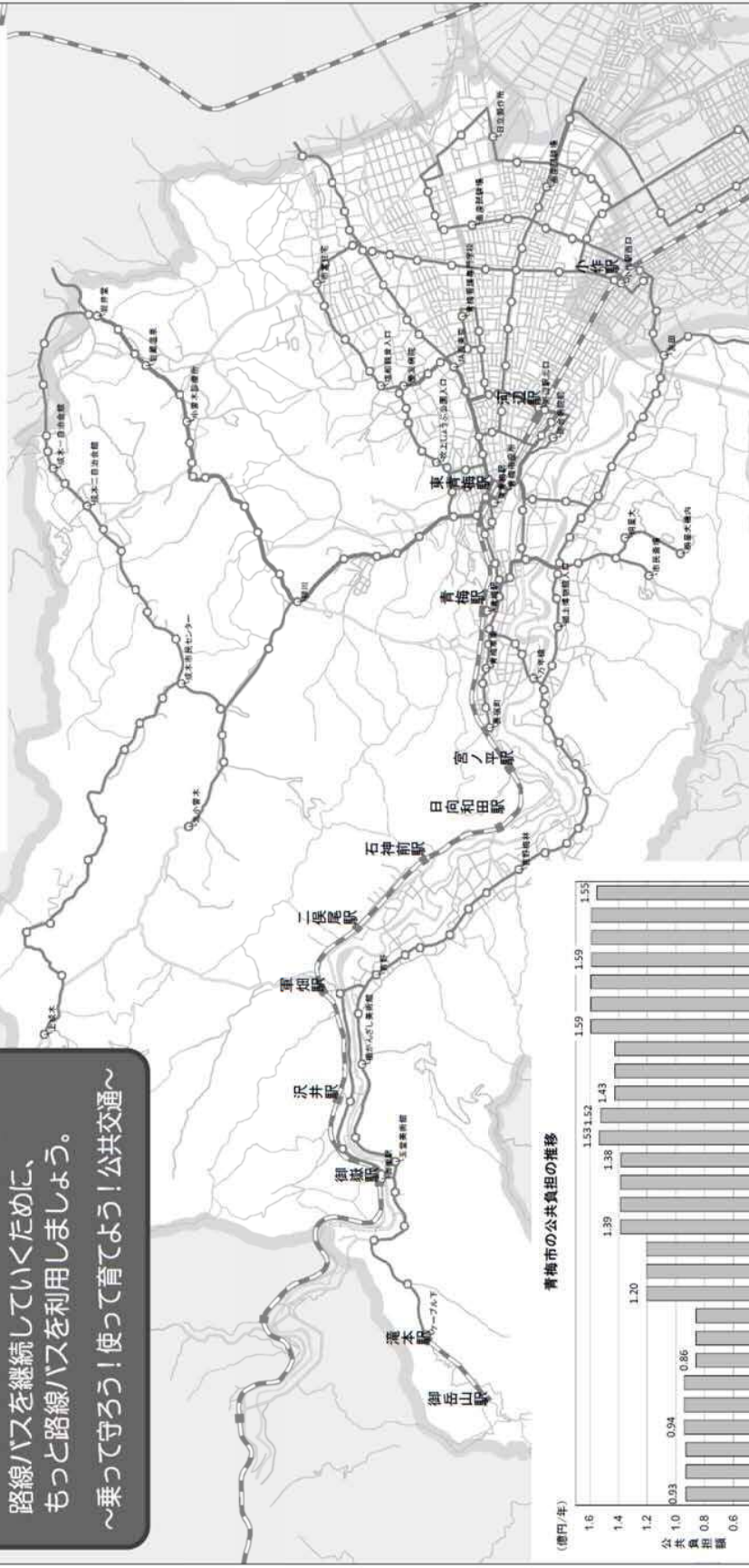
《 本調査について 》

- ・ 本アンケートは、今後の青梅市の公共交通を考える上で大変重要なものです。世帯の皆様に関係することですので、ご家族の方と一緒に回答していただくと幸いです。
- ・ 回答いただいたアンケートの内容は、統計的に処理します。また、上記目的以外に使用することはありません。
- ・ 回答は、選択肢の番号に○をつけるか、_____の部分に具体的な内容をご記入ください。

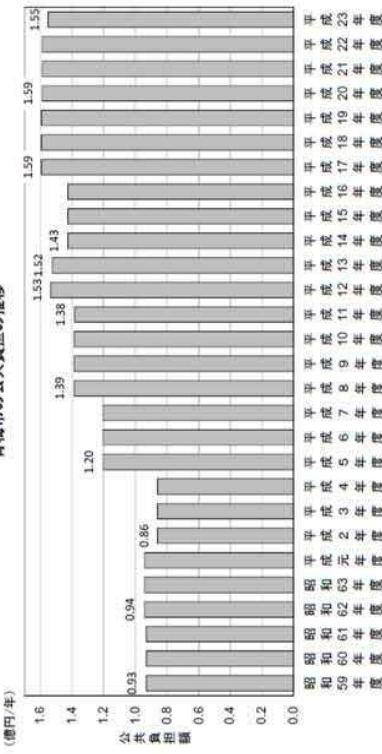
青梅市の路線バス

路線バスの運営は、皆さんに利用していただくことで支えられています。路線バスを継続していくために、もっと路線バスを利用しましょう。~乗って守ろう！使って育てよう！公共交通~

現在、青梅市内を運行するバス路線の多くは、赤字路線となっており、青梅市では、税金を使って赤字を補ってんすることで（公共負担）、バス路線を維持しています。青梅市の公共負担は昭和59年から始まり、年間負担額はこの30年間ほどで当初の1.5倍の約1億5千万円となっています。



青梅市の公共負担の推移



- 市内を運行する路線バスの詳細な情報は、バス事業者のHPをご覧ください。
 東京都交通局（都営バス）：<http://www.kotsu.metro.tokyo.jp/bus/>
 西東京バス株式会社：<http://www.nisitokyobus.co.jp/>
 西武バス株式会社：<http://www.seibu-group.co.jp/bus/>

青梅市の公共交通に関するアンケート

1 (共通質問) あなたとあなたの世帯についてうかがいます。

お住まいはどちらですか	青梅市 _____ (町丁名までお答えください。記入例:本町、長淵2丁目、梅郷6丁目、吹上など)		
あなたの性別は	1)男性 2)女性		
あなたの年齢は	1)15～22歳 2)23～44歳 3)45～64歳 4)65～74歳 5)75歳以上		
世帯の構成を 教えてください		男性	女性
	14歳以下の方	_____人	_____人
	15～64歳の方	_____人	_____人
	65歳以上の方	_____人	_____人
あなたの世帯では自動車をお持ちですか	1)持っている 2)持っていない ↳ (個人専用 _____台、家族共用 _____台)		
ご自宅の最寄り「バス停」についてうかがいます	最寄りのバス停をご存知ですか	1)知っている 2)近くにバス停はない 3)知らない ↳ (バス停名 _____)	
	そこまでの所要時間	徒歩で _____分	
ご自宅の最寄り「鉄道駅」についてうかがいます	最寄りの鉄道駅はどこですか (1つだけ)	1)小作 2)河辺 3)東青梅 4)青梅 5)宮ノ平 6)日向和田 7)石神前 8)二俣尾 9)軍畑 10)沢井 11)御嶽 12)その他→駅名 _____	
	そこまでの主な交通手段(1つだけ)	1)徒歩 2)自転車 3)バイク 4)自家用車 5)バス 6)タクシー・他	
	そこまでの所要時間	自宅から駅まで _____分	
青梅市内の 路線バスの 利用について うかがいま す	ご家族(あなたも含め)にバスを利用する方はいらっしゃいますか	1)いる 2)いない→ 3 へお進みください	
	その方の性別は (お2人までご記入ください)	1人目の方	2人目の方
		1)男性 2)女性	1)男性 2)女性
	その方の年齢は	1)14歳以下 2)15～22歳 3)23～44歳 4)45～64歳 5)65～74歳 6)75歳以上	1)14歳以下 2)15～22歳 3)23～44歳 4)45～64歳 5)65～74歳 6)75歳以上
	利用するバス停区間は	_____ ~ _____	_____ ~ _____
	そのバスでの移動目的は何ですか(1つだけ)	1)通勤 2)通学 3)買物 4)病院 5)その他	1)通勤 2)通学 3)買物 4)病院 5)その他
	そのバスの乗車時刻(24時間表記で)	_____時 _____分頃	_____時 _____分頃
	そのバスの利用頻度は(1つだけ)	1)週5日以上 2)週3～4日 3)週1～2日 4)週1日未満	1)週5日以上 2)週3～4日 3)週1～2日 4)週1日未満

2 この質問は、前問のバスを利用する方がお答えください。

1. 利用する路線バスの「サービス内容」について ①満足度 ②重要度 をうかがいます。

①満足度 → 各項目ごとに、1～5のあてはまるものに○をつけてください。

②重要度 → 路線バスを利用する際に重要な項目を、2つだけ選んで○をつけてください。

	「サービス内容」 ↓	1人目の方					2人目の方						
		①満足度					②重要度	①満足度					②重要度
		1 満足	2 まあ満足	3 普通	4 やや不満	5 不満		1 満足	2 まあ満足	3 普通	4 やや不満	5 不満	
1	時刻表や経路等の情報のわかりやすさ	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5	
2	運行経路、バスの行先	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5	
3	運行本数（平日）	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5	
4	“（休日）	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5	
5	始発時刻（平日）	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5	
6	“（休日）	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5	
7	終発時刻（平日）	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5	
8	“（休日）	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5	
9	時刻表どおりの運行	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5	
10	運賃	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5	
11	バス停間隔(バス停位置)	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5	
12	鉄道との乗り継ぎ(バス停)	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5	
13	鉄道との乗り継ぎ(時間)	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5	
14	バス停でのバス待ち環境	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5	
15	バス車両の乗降のしやすさ	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5	

2. 青梅市内の「現在の公共交通サービス」について、改善要望がありましたら具体的にご記入ください。

3

(共通質問) 日常生活における「外出時の移動」についてうかがいます。

1. 世帯中(あなたご自身も含めて)に、日常生活における「外出時の移動」に関して、困っている方や不便を感じている方はいらっしゃいますか。

1) いる→()人	2) いない→ 4 へお進みください
------------	---------------------------

2. 外出時の移動に関して、困ったり不便を感じているのは、どのような方ですか。

※2人以上いらっしゃる場合は、お2人までご記入ください。

	1人目の方	2人目の方
性別	1) 男性 2) 女性	1) 男性 2) 女性
年齢	1) 14歳以下 2) 15～22歳 3) 23～44歳 4) 45～64歳 5) 65～74歳 6) 75歳以上	1) 14歳以下 2) 15～22歳 3) 23～44歳 4) 45～64歳 5) 65～74歳 6) 75歳以上
職業	1) 会社員等の勤め人 2) 自営業 3) パート、アルバイト 4) 専業主婦、家事手伝 5) 学生、生徒、児童 6) 無職 7) その他	1) 会社員等の勤め人 2) 自営業 3) パート、アルバイト 4) 専業主婦、家事手伝 5) 学生、生徒、児童 6) 無職 7) その他

3. 外出時の移動で困ったり不便を感じているのは、どのような場合ですか。移動内容をお答えください。

	1人目の方	2人目の方
出発地	1) 自宅 2) 自宅以外→ <small>地名</small> <small>施設</small>	1) 自宅 2) 自宅以外→ <small>地名</small> <small>施設</small>
目的地	地名・施設等	地名・施設等
移動目的 (1つだけ)	1) 通勤 2) 通学 3) 買物 4) 病院 5) その他→具体的に	1) 通勤 2) 通学 3) 買物 4) 病院 5) その他→具体的に
出発時刻	1) 出発時刻は 時 分頃 2) 出発時刻は特に関係ない	1) 出発時刻は 時 分頃 2) 出発時刻は特に関係ない
頻度	1) 週5日以上 2) 週3～4日 3) 週1～2日 4) 週1日未満	1) 週5日以上 2) 週3～4日 3) 週1～2日 4) 週1日未満

4. 外出時の移動に関して、困ったり不便を感じているのは、なぜですか。(1つだけ)

1人目の方	2人目の方
1) 交通手段がなく、徒歩や自転車利用は大変だから	1) 交通手段がなく、徒歩や自転車利用は大変だから
2) 交通手段がなく、送迎やタクシーが必要だから	2) 交通手段がなく、送迎やタクシーが必要だから
3) 路線バスはあるが、希望の時間に合わない	3) 路線バスはあるが、希望の時間に合わない
4) 出発地から、乗車バス停までが遠いから	4) 出発地から、乗車バス停までが遠いから
5) 降車バス停から、目的地までが遠いから	5) 降車バス停から、目的地までが遠いから
6) 身体に障がいがあり、路線バスを利用しづらい	6) 身体に障がいがあり、路線バスを利用しづらい
7) その他→具体的に	7) その他→具体的に

5. 上記のことに対する改善要望や、その他外出時の移動に関する問題がありましたら、具体的にご記入ください。

--

4

(共通質問) 青梅市内の「路線バスの今後の維持・継続」についてうかがいます。世帯の意見としてお答えください。

1. あなたの世帯にとって、地域を運行する路線バスの必要性を、どのように思いますか。(1つだけ)

- 1) 家族の日常生活には、なくてはならない交通手段である
- 2) 普段は利用していないが、必要なときにないと困る
- 3) 現在は必要ないが、将来クルマを運転できなくなったときにないと困る
- 4) 自分の世帯には直接必要ないが、駅から遠い人やクルマのない人には必要である
- 5) あまり必要性を感じない

2. 現在、市内の一部の路線バスは、利用者の運賃収入だけでは、バス運行にかかる経費をまかなえない状況にあり、青梅市では路線バスの運行を維持するため、その赤字への補助として、年間約1億5千万円を税金によって公共負担しています。 ※お願い状の裏面をご覧ください

① 青梅市の路線バスに関する公共負担の状況について、ご存知でしたか。(1つだけ)

- 1) 知らなかった
- 2) 路線バスの赤字は知っているが、赤字への補助は知らなかった
- 3) 知っていた

② 現在の、路線バスを維持するための公共負担について、どのように思いますか。(1つだけ)

- 1) さらに公共負担を増やし、路線バスを改善していくべき →3. へお進みください
- 2) 公共負担をこのまま継続して、路線バスを維持していくべき →3. へお進みください
- 3) 公共負担は必要だが、現在の補助額は高いと思うので、減らすべき
- 4) 路線バスへの赤字補助は必要ない、廃止となってもやむを得ない →3. へお進みください

3) を選んだ方

③ 公共負担を減らすために、どのようにするべきだと思いますか。(1つだけ)

- 1) 運行本数を減らすなどして、運行経費を削減する
- 2) バス利用者を増やすなどして、運賃収入を増やす
- 3) 運賃を値上げして、運賃収入を増やす
- 4) 路線バスよりも、公共負担の小さい交通手段や方法に切り替える
- 5) その他→具体的に_____

3. 日常生活をおくる上で、路線バスを利用するとしたら、最低でもどの程度の運行頻度が必要ですか。(1つだけ)

- 1) 最低限、朝、昼、夕に1本程度あればよい
- 2) 最低限、朝、昼、夕に2本ずつ程度あればよい
- 3) 最低でも1時間に1本程度は必要
- 4) 最低でも1時間に2本程度は必要

4. 青梅市内の「今後の公共交通のあり方」に関して、ご意見がありましたら自由にご記入ください。

本アンケートへご協力いただき、大変ありがとうございました。
ここでいただいたご意見は、今後の公共交通計画の検討に向けて活用させていただきます。